

秋以降の当社節電行動方針について

2011年10月5日

株式会社 光陽メディア

代表取締役社長

大野 清

今夏の電力需給逼迫の事態に際し、当社は6/22に「光陽メディア節電行動計画」を決定し、ISO14001認証取得企業としての社会的責任と経営基盤強化のための業務改善の観点から取組みを推進しました。その結果、内製化による生産増を果たしながら、節電効果およびコスト削減の両面で成果を確認できる取組みとなりました。

今後、とくに今冬および来夏の電力需給は厳しいものが見通されており、さらに電気料金の増大が必至の状況となっている中で、秋以降の節電方針を以下の通り決定し推進することとします。

【秋以降の基本的対策について】

- ① 当社「節電行動計画」に示された基本施策及び個別の具体的施策については、原則として秋以降も継続実施する。
- ② 削減目標値は、各エリア別に、①最大デマンド、②使用電力量について、
昨年同月対比で10%以上とする。
- ③ 冬場は、事務室内空調温度設定値：20℃を基本とし、ウォーム・ビズを奨励する。作業現場については、事務室内設定値を念頭に、使用機器の安定性と品質確保の観点から、個別の最低温度を調査検討の上、設定する。
冬場は、夏期と異なり朝・夕の電力消費が増大することを対策実施上考慮。また、暖気を効率的に循環させる上で、職場ごとにサーキュレーター（空気循環機）を配置し活用する。
- ④ 推進態勢は今夏と同様とする。

以上